

寺泊港整備・利活用構想に対する意見

(1)一部一施設という考え方でなく寺泊の特徴を生かし、ゾーンに分けて整備

①マリンスポーツエリアの整備

⇒水上スキー、ビーチバレー、マリクラブ船係留地の整備

②港公園から文化センターまでの一帯をゾーンに分け整備

⇒町体育館を道(海)の駅等、多目的に使用可能な施設にする

⇒浜茶屋(駐車場を含む)の整備

⇒トイレ西側を含めた魚の市場通り駐車場の拡張整備

⇒キャンプ場の整備(公設の施設、ごみ収集施設の整備)

⇒テニスコートから野球場までの体育施設を合宿等ができる規模の施設に整備

(滞在型の観光客を誘致するための施設整備)

⇒寺泊文化センター周辺の整備

(防風林、自然を生かした遊歩道の整備、海浜希少植物の保護)

⇒旧支所跡地、民俗資料館の利活用

⇒遊歩道の整備(民俗資料館～白山媛神社～聚感園～お寺～旧支所)

③港の整備

(水深を深くして大型船が就航できるようにする)

④水族博物館の整備

(2)バイパス道路に関連した整備

⇒遊歩道(ウォーキングロード)の併設

⇒縦の中小河川(下水溝を含む)、道路の整備

⇒津波対策として高くなると思うが景観等の配慮

(3)水上バイク発着場の創出、整備

⇒規制しても利用者は増加している現状であり、利用者のニーズを見極めた整備を進める。

(4)キャンプ場の整備

⇒規制しても利用者は増加している現状であり、利用者のニーズを見極めた整備を進める。

(5)魚の市場通りの海側「中央海浜公園」から海へ出られるようにすると同時に、海岸整備

⇒利用者のニーズを見極めた整備を進める。

(6)コロニーから水族館の海沿いにランニングコースを整備

(コースの地面1kmごとに、男女別、消費カロリー等を表示)

⇒観光客のためではなく、地元住民のための健康づくり。

(7)水族博物館にスポーツジムを併設

⇒海・夕日を見ながらトレーニングができる。水族館だけでは弱い。他に例が無いことがアピールになり、健康や寿命意識の強い市民には魅力的。町外からも会員は殺到する。

(8)安全な釣り場の整備

⇒港での釣りは、船の係留があつたりしているので、釣りを自由にできない。洋上の釣り堀などがあると良い。

(9)道の駅・海の駅の整備

⇒道の駅は、24時間車の駐車が可能となり、迷惑駐車は減少になる。

⇒オートキャンプ等が可能になる。

⇒農産物等の販売や体験等、多機能に活用できる。

⇒釣った魚や寺泊の野菜を調理できる場所、子どもが遊べるスペースがあると良い。

⇒気軽に子どもを連れてご飯を食べられる場所があると良い。

(10)広大な土地を利用してくつろげる場所を整備

(芝だけ植えて、子どもを遊ばせたり、海岸や港を散策してお弁当を食べる場所。魚の市場通りで購入したものを食べても良い)

⇒寺泊を訪れて、魚介類や物産を購入して帰宅される観光客が多い現状。

⇒これからの時代は余暇の時間が多くあるので、来てすぐに帰るのではなく、長時間行動する場所が良い。

⇒お金も使わず、健康に良い場所になる。

⇒夏の季節のキャンプなどの対応は必要。